

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

四月に入り、春の日差しが気持ち良い、
過ごしやすい季節となりました。

春風に舞う埃や、代謝も活発になって
汗をかく事も増えますから、髪と地肌も
きちんとお手入れして健やかな髪を保ちましよう。

洗髪は毎日？

洗い過ぎはダメ？

薄毛に悩む女性が増え、最近では
洗い過ぎが良くないのでは、と問題
になっています。

洗浄力の強すぎるシャンプー等で
刺激が強すぎて頭皮にダメージを与
えてしまったり、頭皮の皮脂を奪い
過ぎてしまう事が原因なのですが、

気になって、どの位の頻度でシャン
プーをすればいいのかわからない、
というご相談が増えていきます。

春は風に舞う埃、

汗や皮脂が増加

これからの季節は、暖かい日も増
えて汗ばむ事も多くなり、春風に舞
う埃などで、髪や頭皮が汚れやす
くなってきますから、あまり神経質に



ならず、毎日シャンプーしても
大丈夫です。

汚れた頭皮や髪をそのままに
しておく、毛穴詰まりや血行
不良、付着した汚れが酸化して
髪にダメージを与えますから、
洗わない事よりも、髪や頭皮に
負担を掛けない洗い方でシャン
プーする事を心掛けましよう。

髪を傷めず

頭皮を清潔に

頭皮を清潔に保ち、髪の汚れを
落としてキューティクルを保護す
る事が洗髪の目的ですが、そのた
めに髪や頭皮に負担を掛けてしま
っては元も子もありません。

正しい洗髪で髪を傷めずに頭皮
を清潔に洗い上げ、豊かで艶やか
な髪を、健やかに保ちましよう。

髪を傷めない洗髪で 健やかな髪を保つ

髪のために良い、とされるお手入れ法も色々あります。洗い過ぎると傷む、汚れていると弱る等、色々な事を言われて迷ってしまいますが、要は、頭皮や髪を清潔に保つために、ダメージを与えずに洗うという事が必要です。

傷めず洗う

正しい洗髪法

髪と頭皮を傷めず、シャンプーを効果的に使って汚れを落とすには、正しい洗髪法を知っていないと、正しい洗髪法を知っていません。意外に間違ったお手入れをしている方も少なくありません。

普段、何気なく行っているシャンプー法に間違いがないか、もう一度、見直してみましよう。

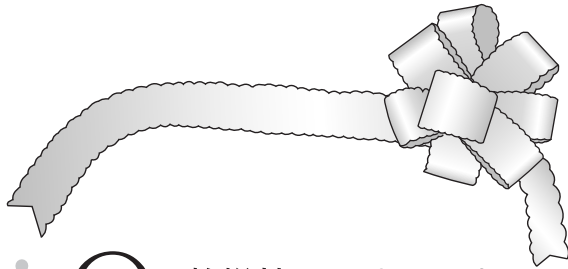
- ・ お湯またはぬるま湯で、髪と頭皮をよくすすぎます。(2〜3分位。あまり熱すぎるお湯は×)
- ・ シャンプーを手に取り、軽く泡立ててから地肌をマッサージする様に洗髪。(髪をこすらない様にして、爪を立てずに頭皮を優しく洗います。)
- ・ すすぎはたっぷり入念に行い、軽く水分を切ってから、毛先を

- ・ その後のすすぎは、すすぎながら髪感触が、ヌルヌルからスルスルに変わったらOKです。
- 中心にトリートメントを付けましょう。その後髪全体に行き渡らせませす。(根元や地肌にはつけない様に注意。)
- この時、蒸しタオルで髪全体を覆っておくと、トリートメント成分が髪により浸透します。



知っておきたい

髪のお手入れポイント



Q 乾燥性のかゆみがあり、乾皮症だから洗い過ぎは厳禁、と言われていますが、石鹼やボディークリームを使わないのもスッキリせず気になります。ホホバをたっぷり塗れば、洗っても大丈夫でしょうか？



A いつもご愛用ありがとうございます。

乾燥したお肌には、こすり過ぎ・熱いお湯は厳禁です。

また、ナイロンは刺激が強過ぎるので、避けましょう。

症状の悪化を防ぐには、ボディークリームにホホバを混ぜてボディータオルで良く泡立て、ゴシゴシこすらずに優しく洗ってください。

お風呂上がりにも、痒みの出やすい所にはたっぷりホホバを塗るようにしてください。

◆頭皮の乾燥が気になる時は

シャンプー前、ホホバを地肌につけ、指の腹でもみ込む様にマッサージしましょう。

その後、シャンプー剤にもホホバを数滴混ぜて使うと、毛穴の奥からしっかり洗えて、頭皮の乾燥も予防してくれます。

◆濡れている髪は傷付きやすい

濡れている時、髪はキューティクルが開いて非常に傷付きやすくなっています。

出来るだけ早くキューティクルを閉じて刺激や乾燥から髪を守るため、自然乾燥よりドライヤーを正しく使って髪を乾かしましょう。

・温風は一か所に15秒以上当て続けられない様に注意して、髪の根元・頭皮に風を入れる様にしてドライヤーを当てます。
根元が乾いてきたら、髪表面には斜め上45度の角度から風を当てると髪に艶がでます。